



R7学校経営方針



たかめール



ねばール



つながール

お伝えしたいこと

R7年度長岡第十小学校 学校運営方針

- 1 こんな学校を目指します。Goal
- 2 大切にしていることがあります。Policy
- 3 こんなふうに取り組んでいきます。Action
- 4 そして、次に活かします。Check
- 5 学年の目標 One for All



たかめーる



ねばーる



つながーる

こんな学校を目指します。Goal

令和7年度は全学年で11クラス・特支級3クラス 287人でスタート

児童と教職員が「楽しい」と感じる学校

「やってみたい!」「学びたい!」と感じられる授業づくり
取組を進めます。



児童と教職員が成長を実感する学校

自分の育ちや学びを実感できる指導・支援を通して、
教師自身の力量も高めます。



児童・保護者・地域・教職員の間 信頼関係がある学校

分かり合い、支え合える温かい関係をつくっていきます。



自分を高める力、粘り強く取り組む力、友達とつながる力

2 大切にしていることがあります。Policy

次の視点を大切に、教育活動を進めます。

子どもを「育てる」から、子どもが自ら「育つ」学校へ

「やりたい」を引き出し、考え行動できるよう指導します。

「わかった・できた」という結果だけでなく、「どのようにしたか」

「なぜしたか」という過程や根拠となる子どもの姿を丁寧に評価します。



たかめール

子どもの姿で見取る

子どもの姿で目標設定し、子どもの姿で活動を評価します。



ねばール

「自己有用感」は人との関係から生まれる

認め、寄り添い、支え合える子どもの居場所を磨き続けます。



つながール

地域への発信

すべての起点は教師から

3 こんなふうに取り組んでいます。Action

本年度は次の4つの重点項目と4つの実感を掲げています。

① 学びの質を高める（学力の向上）

わかりやすい授業から楽しさの実感に向かう授業をめざします。
説明や交流など、見える化・アウトプットの活動を工夫します。
全員参加を目指した授業づくりについて研究を深めます。



② 一人一人を大切にした個別指導の浸透 （人権教育、生徒指導、特別支援教育、教育相談）

傾聴と受容で子どもを正しく理解します。
自己決定・自己存在感・共感的理解を与える指導が学校風土となるよう
包み込まれている感覚を実感させる教師のふるまいを大切にします。



3 こんなふうに取り組んでいます。Action

本年度は次の4つの重点項目と4つの実感を掲げています。

③ 育ち合う集団づくり

つながる、支え合う、高め合う、折り合う場面づくりを工夫します。
個の視点と集団の視点による育ちと見取りで成長を実感させます。



④ 地域や関係機関との連携の深化

学校や地域を居場所として実感できる取組を進めます。
顔を知る、良さを見つける、関わりをつなげる様子を発信します。

4 そして、次に活かします。Check

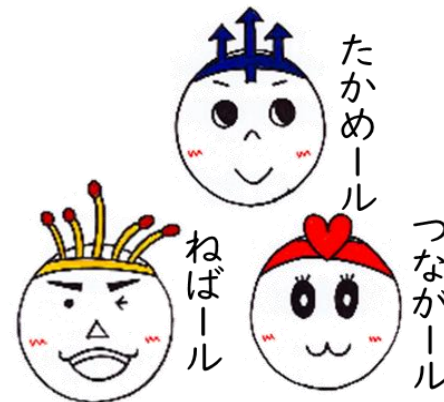
次の学びや育ちにつなげ、積み上げていきます。

PDCAサイクルによる成果と課題を明確にする

PDCA+P'（改善案）サイクルで、取組をブラッシュアップします。
最終ゴール「目指す学校像」と紐づけて評価し、次につなげます。

主体的・協働的なチーム力の向上

議論と笑顔のある職場で
若手と中堅・強みと弱みの融合を図り、
業務の重なりを意識した互助スピリットを大切にします。



5 学年目標 One for All

3つの観点でつくりました。

	たかめール 	ねばール 	つながール 	キャッチフレーズ
たんぽぽ	Challenge ～もう一歩 ふみだそう～	Action ～もっとつづけよう～	Together ～ほっとする たんぽぽ～	CAT (モア)
1年	どんどんチャレンジ 大はっケン!	さいごまでやりきる ワン	えがおでみんな ウッキウキー	日本一の いちねんせい
2年	やってみよう	やりつづけよう	いっしょにやろう	かんぺき
3年	やってみる	やりぬく	やさしく	3本の矢
4年	静	動	丁寧	メリハリ ～高学年の第一歩～
5年	新しいことにも 進んで取り組む	真剣に 深く考え、正しい判断	信用し 信頼される	 チーム5年生
6年	追究 どうすればもっと良くなるか	見本 良き見本であり続ける	協力 65人の力!!	積み木  成長を積み上げよう